

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療学科】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法演習Ⅲ			必修	1	3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
粕山 達也		D311	kasuyama		月曜 12:00-13:00	
授業の目的・概要	本演習では、様々な疾患に対する理学療法における臨床思考過程を理解するために、模擬症例を用いて疾患の病態、評価、治療までの流れについてグループ学習を通じて学ぶことを目的とする。また、学習を通じて学んだ内容を教員及び他学年の学生に伝え、討議できる論理的思考力を学ぶ。					
授業形式・方法	☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学习)		☐ 講義 ☒ 演習 ☐ 実習 ☐ 実技	☒ PBL ☒ グループワーク ☐ その他（	☐ 反転授業 ☒ プレゼンテーション	☐ ディスカッション・ディベート ☐ 実習・フィールドワーク
学習上の助言	臨床実習において対応する主要な疾患について、自らまとめ整理するだけでなく、グループ学習を通じて意見をまとめ他者に伝えるための能力を身につける演習となる。臨床における思考過程を模擬的に経験するとともに、協調性やプレゼンテーション能力を高めることが求められる。					
教科書	指定しない。					
参考書	指定しない。					
外部教材						
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	対象疾患に関する情報を収集し、グループでの意見をまとめて発表することができる。				PT(2)、(4)、(5)	
②	対象疾患の理学療法に関して、発表を通じて質疑応答に正確に答えることができる。				PT(2)、(4)、(5)	
③	各疾患に関する思考過程について整理し、内容について討議することができる。				PT(2)、(4)、(5)	
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	オリエンテーション：学習の進め方（臨床実習における思考過程、ポートフォリオ作成の仕方）を学習する。 [担当：粕山]		講義	予習：疾患の情報収集 復習：情報収集のまとめ		2
2	症例基盤型学習の方法について理解する。		演習 PBL	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習		2
3	実習における問題志向型システム（POS）を理解する		演習 PBL	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習		2
4	運動器系疾患の症例における SOAP の書き方を学習する。		演習 PBL	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習		2
5	神経系疾患の症例における SOAP の書き方を学習する。		演習 PBL	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習		2
6	内部障害系疾患の症例における SOAP の書き方を学習する。		演習 PBL	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習		2
7	第2症例（運動器疾患）を提示する。 運動器疾患に関する情報収集と討議を行う。		演習 PBL	予習：討議のための資料整理 復習：プレゼン用資料の整理		2
8	運動器疾患に関する情報収集と討議を行う。		演習 PBL	予習：討議のための資料整理 復習：プレゼン用資料の整理		2
9	運動器疾患に関するプレゼンテーション準備を行う。		演習 PBL	予習：プレゼン作成の準備 復習：発表用討議の準備		2
10	第1症例の発表および討議を行う。第2症例（中枢神経疾患）を提示する。		演習、発表	予習：発表の準備 復習：発表内容の反省		2
11	中枢神経疾患に関する情報収集と討議を行う。		演習 PBL	予習：討議のための資料整理 復習：プレゼン用資料の整理		2
12	中枢神経疾患に関するプレゼンテーション準備を行う。		演習 PBL	予習：プレゼン作成の準備 復習：発表用討議の準備		2
13	第2症例の発表および討議を行う。		演習、発表	予習：発表の準備 復習：発表内容の反省		2
14	発表内容に関する課題を整理する。		講義	予習：発表の準備 復習：発表内容の反省		2
15	総括・臨床思考過程の復習をする。		講義	予習：演習内容全体の整理 復習：演習全体の反省		2

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

試	成果発表			
---	------	--	--	--

達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	50	50	0	0
総合力指標	知識・技術力	0	0	10	20	0	0
	思考・推論・創造する力	0	0	0	10	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	20	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	10	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	10	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	グループ学習にてまとめた内容について発表し、討論を行う。発表に関して、疾患概要の整理、評価項目の妥当性、評価から治療の流れなど、一連の理学療法思考過程について、理解度を問う。			発表のフィードバックを行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	グループ学習にて行った情報収集および討議の内容について整理する。また、学習で使用した参考文献や資料を整理し、発表までの過程について分かりやすくまとめる。			ポートフォリオに関するフィードバックを行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	三科 貴博、関口 賢人、関根 聡美、坂本 祐太、大塚 篤也、甘利 貴志、元山 美緒						
教員の実務経験	理学療法士（臨床経験 17 年） 整形外科クリニック 6 年 訪問リハビリテーション 11 年 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（臨床経験 17 年、資格取得後 7 年）						
実践的授業の内容	臨床現場に多い疾患に対して具体的な治療方法について解説するとともに、提示した症例に対する実践的な学習課題を提供する。						
そ の 他	授業態度：授業中の私語は禁止とする。口頭注意により授業態度が改善しない場合、退室を命じることがある。 感染対策：本授業では大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を厳守する。感染対策を遵守できない学生は面接授業の参加を認めない。今後の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、シラバス変更の可能性があることに留意してほしい。						